

北海道「ENEOSの森」で社員ボランティアが森林保全活動を実施

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、7月9日(日)、環境貢献活動の一環として、北海道千歳市にある北海道「ENEOSの森※1」にて社員およびその家族66名が森林保全のボランティア活動を実施しましたのでお知らせいたします。

今回の森林保全活動は、当社の北海道支店および室蘭製油所の社員がボランティアとして参加し、「北の森21運動の会※2」の指導を受けながら、森林保全活動を実施しました。参加者は日頃慣れないカマヤのこぎりを手に、下草刈りや枝打ちを行い、子供たちは間伐木を利用したコースター作りに挑戦しました。また、保全活動後は森の中を散策し、自然観察を行いました。昨年植樹した野球バットの原木であるアオダモも、しっかりと根付いており、原木育成の重要性を理解することができました。参加者からは「昨年自分が植樹した苗木の成長を確かめられてうれしかった」、「子供に自然体験をさせることができてよかった」などの感想が寄せられました。

2004年以来全国の「ENEOSの森」では累計407人がこのボランティア活動に参加しておりますが、今回の参加者もまた森林保全の大切さと重要性を改めて実感した一日でした。

当社は、グループ理念に「エネルギーの未来を創造し 人と自然が調和した豊かな社会の実現に貢献します」と掲げ、CSR活動強化の一環として、社会とのかかわりを大切に考え、積極的に環境貢献活動を推進しております。今後も、本活動をはじめ、ENEOSカードによる社団法人国土緑化推進機構への寄付、「東京グリーンシップアクション」への参加による里山保全など、さまざまな環境貢献活動を継続的に実施してまいります。

※1「ENEOSの森」とは、地方自治体または社団法人国土緑化推進機構とパートナーシップを結び、一定エリアの未整備な森林の保全を支援する活動です。当社社員を中心としたボランティアが植樹、間伐、枝打ち作業などの森林保全活動を実施し、環境・自然保護活動を行っています。「ENEOSの森」は今回活動を実施した北海道の他、神奈川、奈良、岡山県の4カ所に設置しており、今後当社グループの製油所周辺地域を中心に6カ所まで増やし、各地域で森林保全活動を行う予定です。

※2「北の森21運動の会」とは北海道の貴重な資源である森林をフィールドに、農村部から都市部まで幅広い道民の参加を得て、持続可能な森林づくりを実践するとともに、森林の産物を賢く活用し、森林を循環資源として守り、つくり、活かす運動を進める会です。



森林保全活動に参加したメンバー



下草刈りをする様子



間伐材を利用したコースター作り

